

## MS920 USB 仮想 COM ドライバ インストールマニュアル



使用可能モデル：MS920-4UBB00-SG

Version 1.0

## はじめに

このマニュアルでは、ユニテック ポケット 2D イメージャースキャナ MS920 の『USB 仮想 COM ドライバ』のインストール方法を紹介しています。

USB 仮想 COM ドライバは、MS920 とホスト PC を USB ケーブルで接続して有線スキャナとして使用する場合に必要です。また、使用している（使用する予定の）アプリケーションが、COM ポートを必要とする場合にも対応できます。

『MS920 USB 仮想 COM ドライバ』は Web ページからダウンロードするか、以下の URL から直接ダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルは ZIP で圧縮されていますので、解凍して使用してください。

[USB 仮想 COM ドライバのダウンロードはこちらから](#)

仮想 COM ポートを使用する場合には、COM ポートに対応したアプリケーションを別途ご用意いただく必要がありますが、MS920 をご購入いただいたお客様には、COM ポートからのデータをキーボードデータに変換するアプリケーション **RSWedge™ Unitech 版**を提供いたします。

RSWedge を使用することで、メモ帳や EXCEL など、標準で COM ポートを扱えないアプリケーションに対応することができます。

RSWedge が必要な方は、巻末の [RSWedge™ Unitech 版 送付依頼書](#)に必要事項をご記入のうえ、FAX・メール・郵送の何れかでご返送ください。

## - 目次 -

はじめに .....	1
USB仮想COMドライバのインストール Windows 7 .....	3
USB仮想COMドライバのインストール Windows 8/8.1 .....	5
RSWedge™ Unitech版について .....	10
RSWedgeのインストール.....	10
RSWedgeの使用方法 .....	11
RSWedgeの設定例 「バーコードデータ + TABキー」 .....	12
RSWedgeの設定例 「Windows起動時に自動実行する」 .....	14

# USB 仮想 COM ドライバのインストール Windows 7

## \*注意\*

USB 仮想 COM ドライバをインストールするためには、管理者権限でログインしてください。また、管理者権限でログインしていても、実行時にユーザーアカウント制御の画面が表示される場合があります。

## \*注意\*

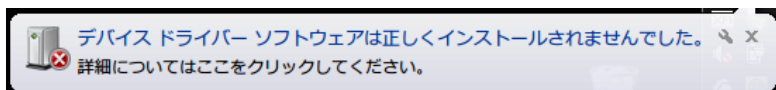
USB 仮想 COM ドライバのインストールを行っただけでは、バーコードデータの出力はできません。COM ポートに対応したアプリケーションが別途必要となります。詳しくは巻頭の**はじめに**をご参照ください。


1. MS920 で『USB 仮想 COM モード』バーコードを読取ってから、USB ケーブルで Host PC と接続してください。



USB 仮想 COM モード

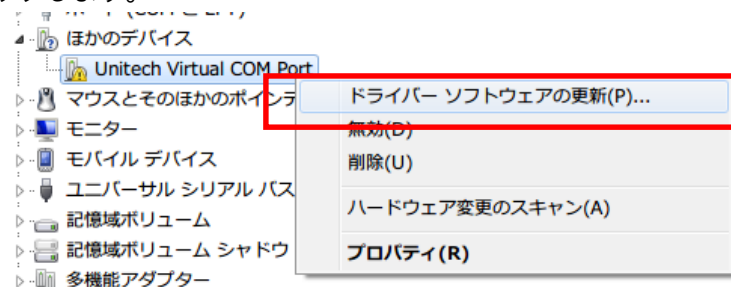
2. ドライバの自動インストールに失敗しますが、そのまま次の手順へ進んでください。このメッセージは表示されない場合があります。



3. デバイスマネージャーを開いてください。デバイスマネージャーを開くには、 > [コントロール パネル] > [システムとセキュリティ] の順にクリックし、[システム] 下の [デバイスマネージャー] をクリックします。

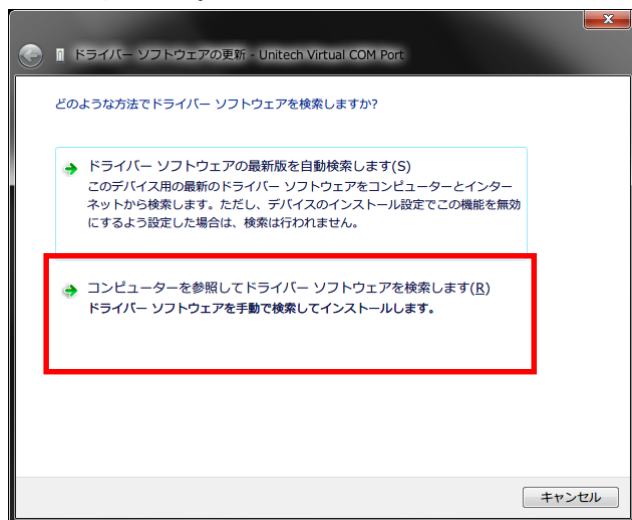


4. [ほかのデバイス] 下の [Unitech Virtual COM Port] を右クリックしてください。表示されたメニューから [ドライバーソフトウェアの更新] をクリックします。

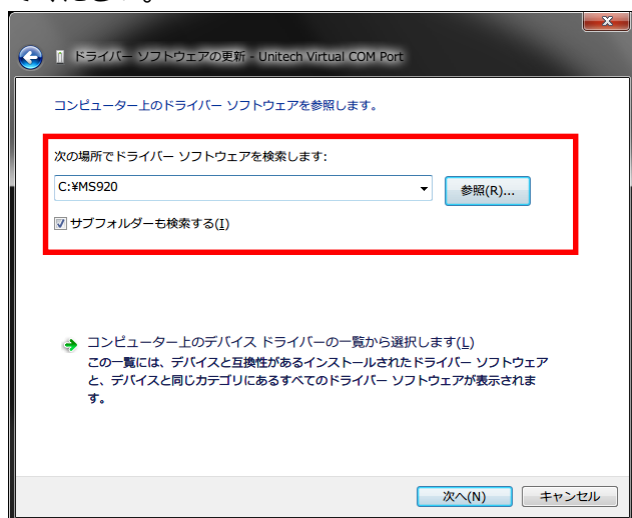


- ※ バージョンによっては **Scanner USB CDC** と表示される場合があります。
- ※ **USB デバイスが認識されません** と表示され、デバイスマネージャー上で **Unknown Device** や **不明なデバイス** と表示される場合は、USB ケーブルの再接続を行なってみてください。

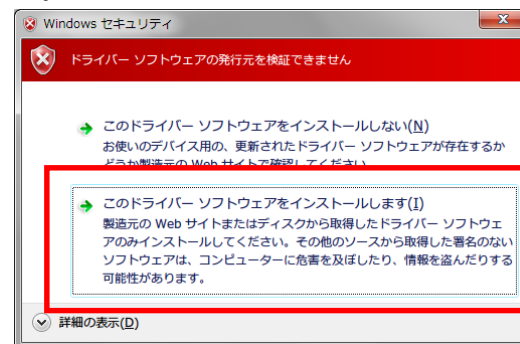
5. 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックしてください。



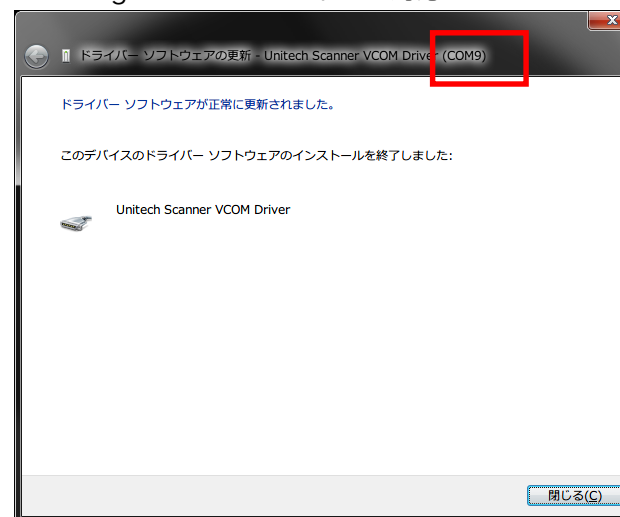
6. 「参照」ボタンをクリックして仮想 COM ドライバの保存フォルダを選択し、「サブフォルダーも検索する」にチェックを入れてから「次へ」をクリックしてください。



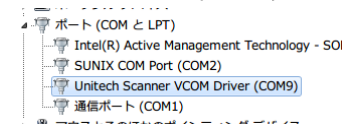
7. 「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックしてください。



8. このデバイスのドライバーソフトウェアのインストールを終了しました:と表示されたら、ウインドウタイトルの COM ポート番号（下図の赤で囲まれた部分）を控えてから「閉じる」をクリックしてください。このポート番号を RSWedge などの COM ポート対応アプリケーションで使用します。



※ デバイスマネージャーにも次のように表示されます。



# USB 仮想 COM ドライバのインストール

## Windows 8/8.1

### ＊注意＊

USB 仮想 COM ドライバをインストールするためには、管理者権限でログインしてください。また、管理者権限でログインしていても、実行時にユーザーアカウント制御の画面が表示される場合があります。

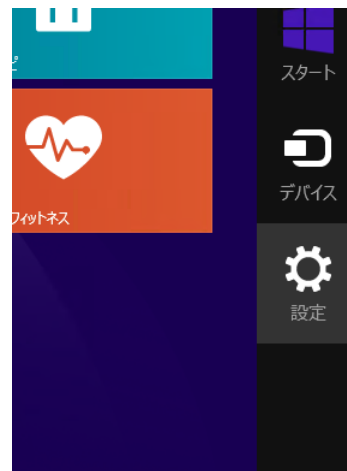
### ＊注意＊

Windows 8/8.1 64bit 版では、デジタル署名がされていないドライバのインストールが標準で無効になっています。デジタル署名無しのドライバをインストールするため、Windows 8/8.1 の設定を変更する必要があります。

### ＊注意＊

USB 仮想 COM ドライバのインストールを行なっただけでは、バーコードデータの出力はできません。COM ポートに対応したアプリケーションが別途必要となります。詳しくは巻頭の「はじめに」をご参照ください。

1. 最初にドライバー署名の強制を無効にします。デスクトップ画面の**右上隅**または**右下隅**にマウスカーソルを移動させ **［チャーム］** を表示して **［設定］** をクリックしてください。



※ **［Windows］**+**［I］**キーのショートカット操作でも設定チャームを開くことができます。

2. 設定チャームを開いたら **［電源］** をクリックし、**［Shift］**キーを押しながら **［再起動］** をクリックしてください。



※ **［Shift］**キーが押せない場合など、次の操作でも同様のことが可能です。

Windows 8・・・**［PC 設定の変更］**-**［全般］**-**［今すぐ再起動する］**

Windows 8.1・・・**［PC 設定の変更］**-**［保守と管理］**-**［回復］**-**［今すぐ再起動する］**

3. [トラブルシューティング] をクリックしてください。



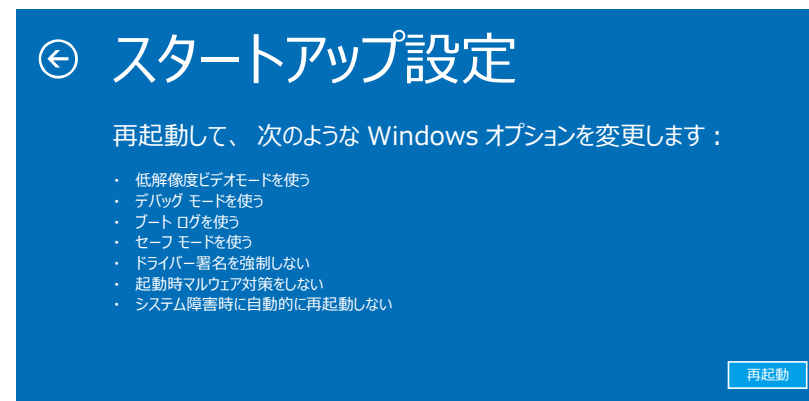
4. [詳細オプション] をクリックしてください。



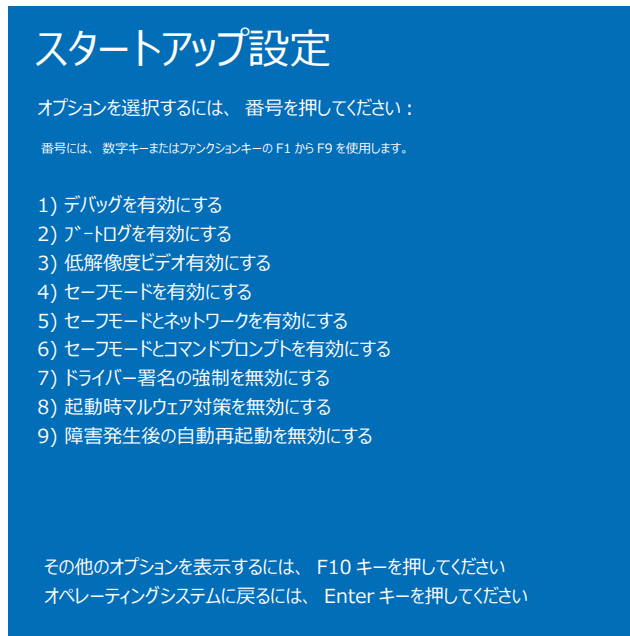
5. [スタートアップ設定] をクリックしてください。



6. [再起動] をクリックしてください。



7. Windows が再起動されます。スタートアップ設定の画面で、キーボードの [7] キーを押してください。

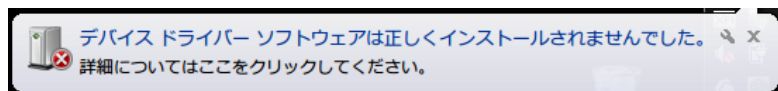


8. MS920 で『USB 仮想 COM モード』バーコードを読み取ってから、USB ケーブルでホスト PC と接続してください。

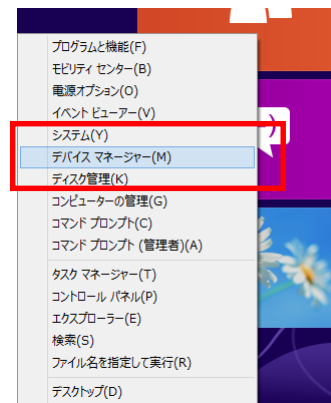


USB 仮想 COM モード

9. ドライバの自動インストールに失敗しますが、そのまま次の手順へ進んでください。このメッセージは表示されない場合があります。

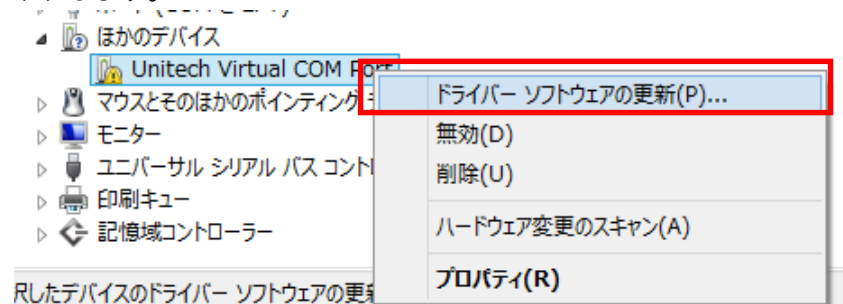


10. デバイスマネージャーを開いてください。デバイスマネージャーを開くには、スタート画面の左下隅を右クリックして [デバイスマネージャー] をクリックしてください。



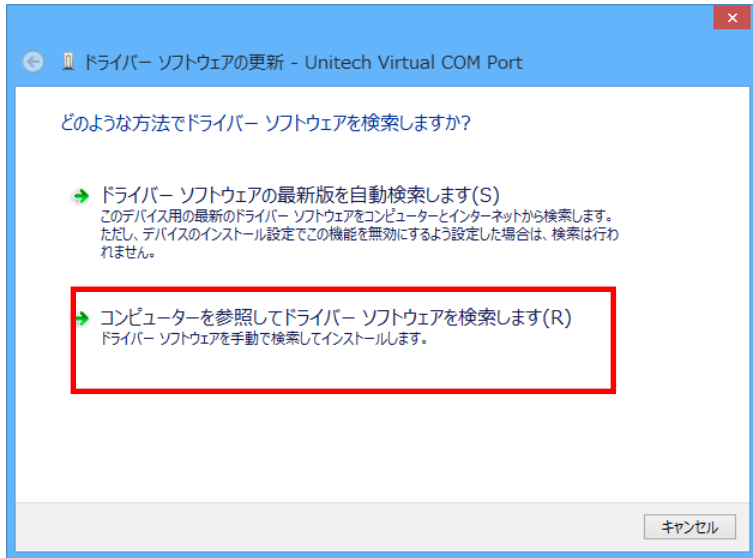
- ※ [Windows] + [X] キーのショートカット操作でもメニューを開くことができます。

11. [ほかのデバイス] 下の [Unitech Virtual COM Port] を右クリックしてください。表示されたメニューから [ドライバーソフトウェアの更新] をクリックします。

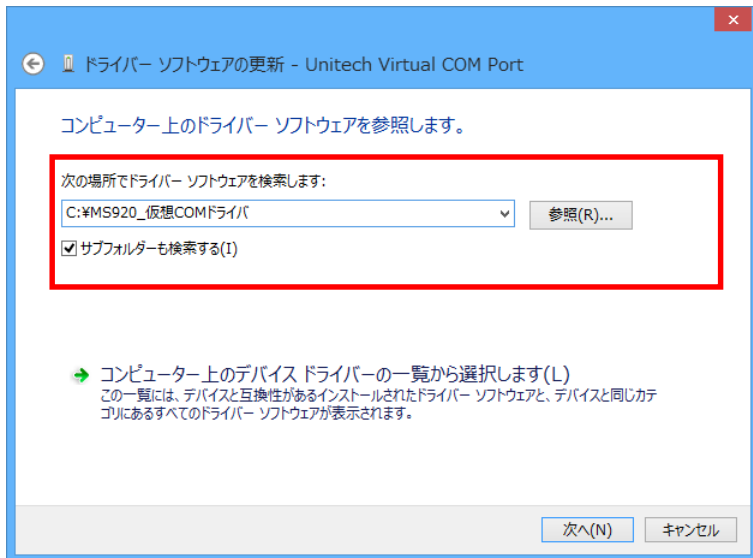


- ※ バージョンによっては **Scanner USB CDC** と表示される場合があります。
- ※ **USB デバイスが認識されません** と表示され、デバイスマネージャー上で **Unknown Device** や **不明なデバイス** と表示される場合は、USB ケーブルの再接続を行なってみてください。

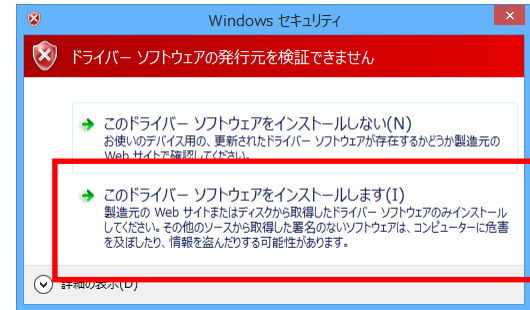
12. 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックしてください。



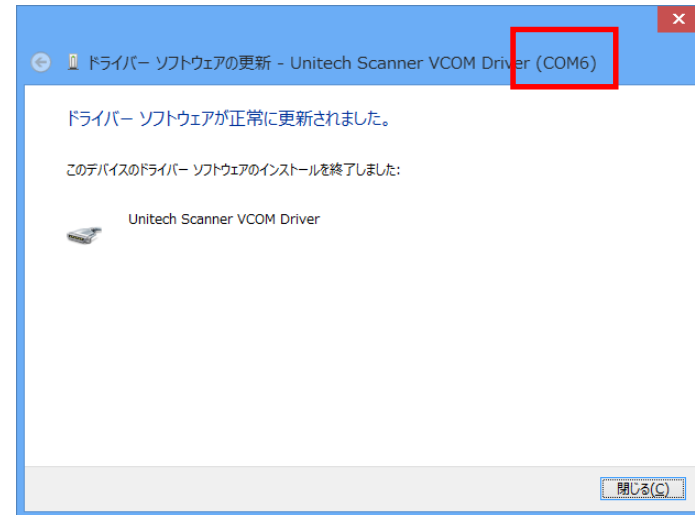
13. 「参照」 ボタンをクリックして仮想 COM ドライバの保存フォルダを選択し、「サブフォルダーも検索する」にチェックを入れてから「次へ」をクリックしてください。



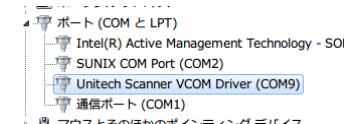
14. 「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックしてください。



15. このデバイスのドライバーソフトウェアのインストールを終了しました:と表示されたら、ウインドウタイトルの COM ポート番号（下図の赤で囲まれた部分）を控えてから「閉じる」をクリックしてください。このポート番号を RSWedge などの COM ポート対応アプリケーションで使います。



※ デバイスマネージャーにも次のように表示されます。





16. 最後に Windows を再起動してください。ドライバー署名の強制無効オプションは、再起動することで通常の状態に戻ります。

# RSWedge™ Unitech 版について

本製品は、ウェルコムデザイン株式会社よりユニテック・ジャパン株式会社へ「ユニテック MS シリーズ」バーコードスキャナの付属ソフトウェアとしてライセンス提供されたものです。

「ユニテック MS シリーズ」と同時に使う限りにおいては使用に関する制限はございません。

他の目的で使用する場合は、ウェルコムデザイン株式会社の使用許諾もしくは別途契約が必要です。

Unitech 版では、全角文字および半角カタカナ文字の開始・終了コードは設定できません。また、ログ機能はご使用いただけません。

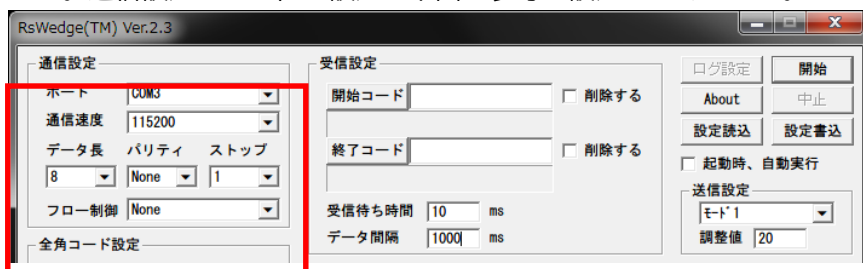
上記機能が必要な場合は、ウェルコムデザイン株式会社より製品版のご購入を御検討ください。

# RSWedge のインストール

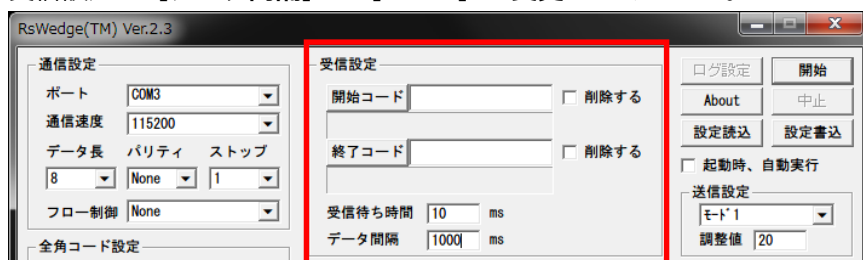
1. 送付された「RSWedge\_Setup.zip」ファイルを解凍してください。  
※ ファイル名は異なる場合があります。
2. zip ファイルを解凍してできた「Setup\_FR.EXE」をダブルクリックして起動してください。
3. 以降、画面の指示に従ってインストールを行ってください。  
インストールが完了すると、デスクトップに RSwedge のショートカットアイコンが作成されます。  
※ ショートカットアイコンが作成されない場合は、インストールフォルダから RsWedge.exe を実行してください。

# RSWedge の使用方法

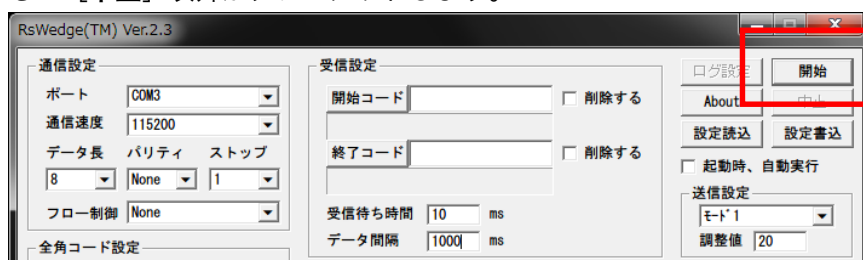
1. RSWedge をダブルクリックして起動してください。
2. 通信設定の[ポート]に、スキャナが使用している COM 番号を選択してください。通信設定のその他の設定は下図を参考に設定してください。



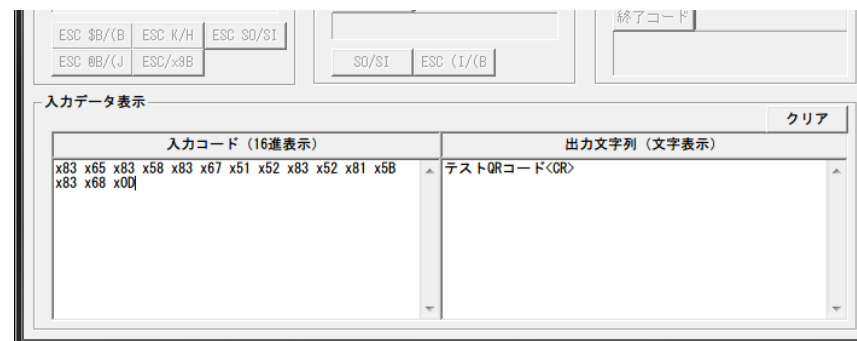
3. 受信設定の[データ間隔]を[1000]に変更してください。



4. 全て設定したら[開始]をクリックしてください。スキャナとの接続が完了すると[中止]以外がグレイアウトします。




5. スキャナで目的のバーコードを読み取り、[入力コード (16進表示)]と[出力文字列 (文字表示)]の両方にデータが表示されれば設定完了です。



- ※ どちらかにしか表示されない場合は、スキャナが USB 仮想 COM モードで設定されていない可能性があります。
- ※ どちらにも表示されない場合は、通信設定のポート番号が間違っている可能性があります。

6. 以後、最前面のアプリケーションに対してスキャナで読取ったバーコードデータが出力されます。RSWedge が最前面の場合は、下部の入力データ表示に出力されます。

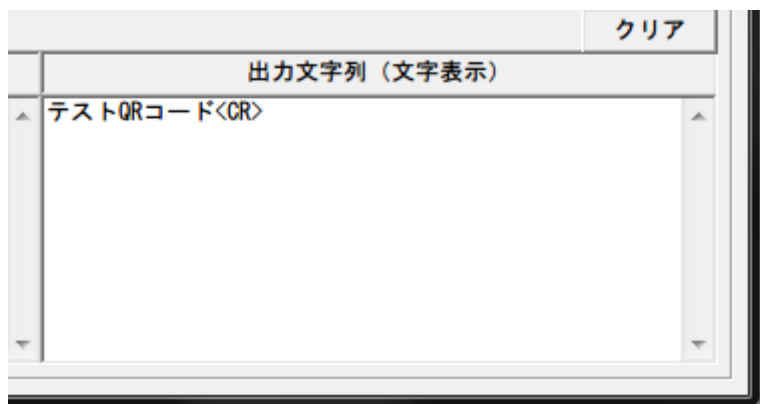
RSWedge を最小化するとタスクトレイに常駐します。設定が正常に行われているにもかかわらず[開始]するとエラーが表示される場合は、RSWedge が2重起動していないか確認してください。

最小化した RSWedge を最大化するには、タスクトレイの  をダブルクリックしてください。

# RSWedge の設定例

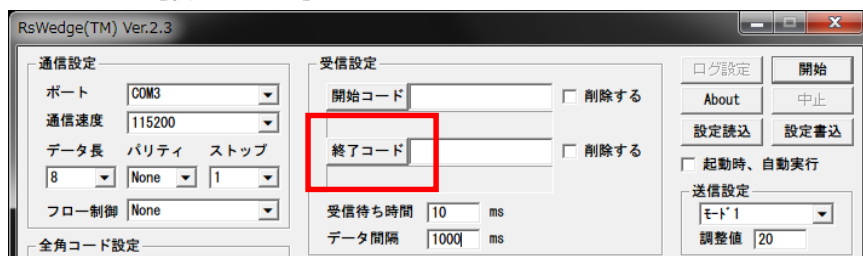
## 「バーコードデータ + TAB キー」

※ MS920 は、標準の状態だとバーコードデータの最後に<CR>を付加して送信しています。この<CR>を削除したあとに TAB キーを追加して出力する設定例です。



※ QR コードなどで、コード内に<CR>がある場合は、正常に動作しませんのでご注意ください。

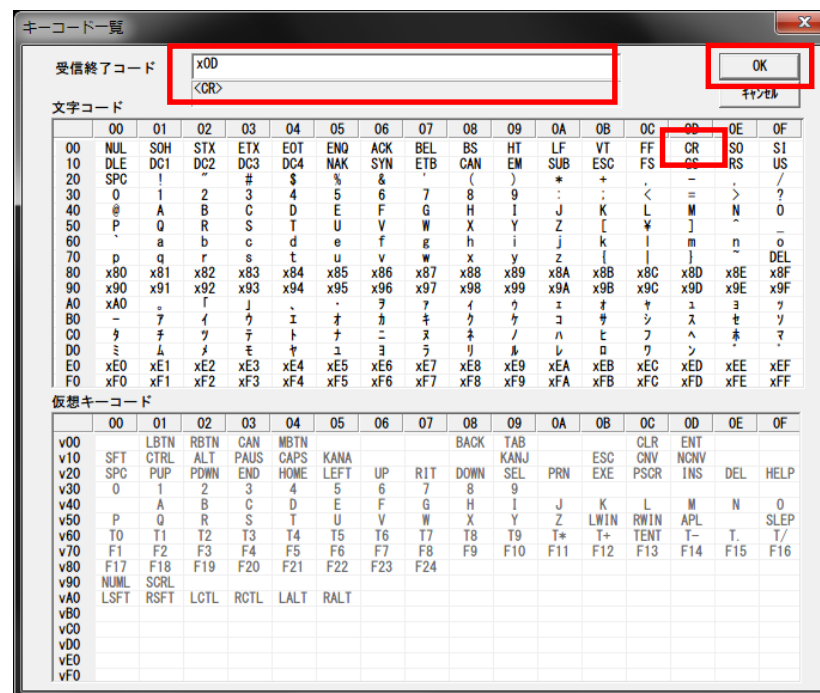
1. 受信設定の「終了コード」をクリックしてください。



※ RSWedge は、ここでセットした文字コードを受信データの最後と認識します。例えば<CR>をセットした場合、バーコードデータの途中に<CR>が存在すると、そこでデータの受信を終了します。

※ 設定した文字コードはバックスペースキーで削除することができます。

2. 文字コードから [CR] をダブルクリックして、受信終了コードの欄に x0D と表示されたら [OK] をクリックしてください。



3. 受信設定の終了コードに x0D が表示されたら、右の「削除する」にチェックを入れてください。



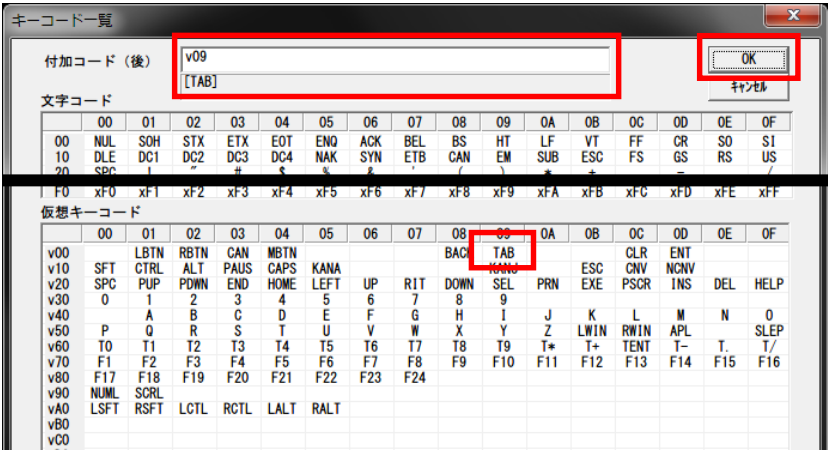
※ <CR>を受信したらデータの受信を終了し、<CR>を削除します。

4. 付加コード設定の「終了コード」をクリックしてください。



- ※ RSWedge は、ここでセットした文字コードを受信データの最後に追加して出力します。例えば[F7]をセットした場合、バーコードデータの最後に[F7]キーを追加して出力します。
- ※ 設定した文字コードはバックスペースキーで削除することができます。

5. 仮想キーコードから「TAB」をダブルクリックして、付加コード(後)の欄に v09 と表示されたら「OK」をクリックしてください。



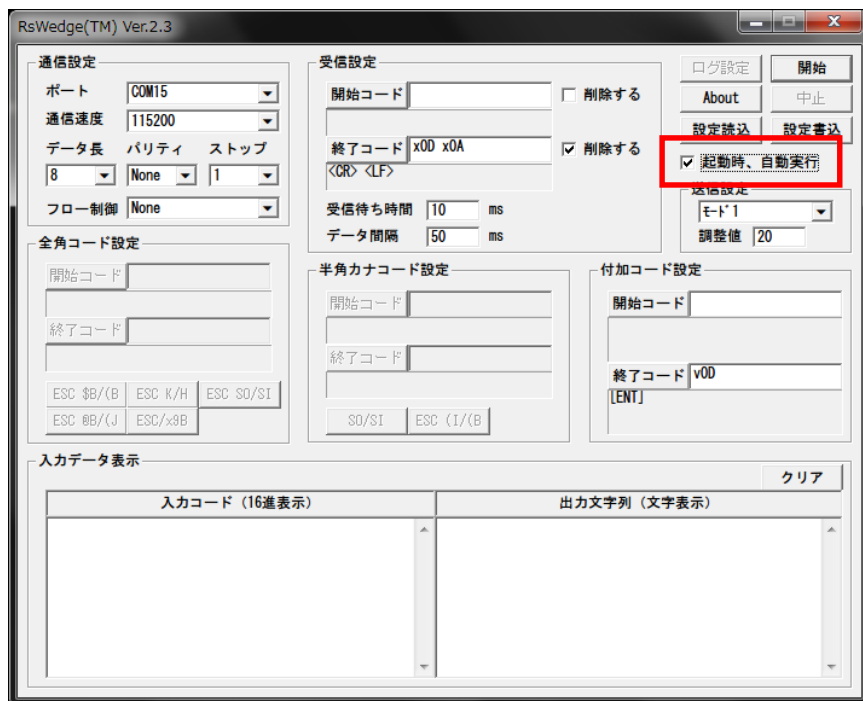
6. 付加コードの終了コードに v09 が表示されたら、「開始」をクリックしてください。
7. スキャナで目的のバーコードを読み取り、データの最後に「TAB」キーが送信されることを確認してください。



# RSWedge の設定例

## 「Windows 起動時に自動実行する」

1. 「起動時、自動実行」にチェックを入れ、「開始」>「中止」の順でクリックしてください。「開始」することで設定が保存されます。



- ※ このオプションは RSWedge 起動後の自動実行オプションです。Windows のスタートアップ時に RSWedge を起動して自動実行する為には、次の手順で RSWedge を Windows にスタートアップ登録してください。

2. RSWedge のショートカットファイルを Windows のスタートアップフォルダに作成してください。ショートカットファイルはデスクトップに作成されているものをコピー&貼付けする方法が簡単です。

標準のスタートアップフォルダの場所：

[Windows 7/8/8.1]

C:\ProgramData\Microsoft\Windows\スタート メニュー\プログラム\スタートアップ

- ※ Windows 7/8/8.1 の ProgramData フォルダは隠しフォルダです。
- ※ スタートアップフォルダ内に直接ショートカットファイルを作成できない場合は、一度別フォルダにショートカットファイルを作成し、その後スタートアップフォルダへコピーまたは移動してください。

# RSWedge™ Unitech 版 送付依頼書

RSWedge をご希望の方は、必須項目をご記入いただきご返送ください。

【E メール添付 ・ メディア送付(CD-R)】 ← ご希望の送付方法を○で囲ってください

※ お急ぎの場合はメールをお選び下さい。折り返し御連絡頂いたメールアドレスへお送りします

貴 社 名 (必須)

部 署 名

ご担当者名 (必須)

住所 (必須) 〒

電話番号 (必須)

FAX 番号

メールアドレス (必須)

ご購入店 (必須)

使用台数 (必須)

MS920-4UBB00-SG : \_\_\_\_\_ 台

シリアルナンバー記載欄 (必須)

※ RSWedge と一緒に使用する MS920 のシリアルナンバーをご記入ください。

※ 台数が 10 台を超える場合は、そのうち 10 台分のみご記載ください。

① _____	⑥ _____
② _____	⑦ _____
③ _____	⑧ _____
④ _____	⑨ _____
⑤ _____	⑩ _____

ユニテック・ジャパン 株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川 1-5-19 茅場町長岡ビル 8 F

TEL 03-3523-2766 (代) FAX 03-3523-3766

info@jp.ute.com